

ヨーロッパの解放／第3部・大包囲撃滅作戦（1971）

OSVOBODZHDENIE: NAPRAVLENIE GLAVNOGO UDARA
LIBERATION: DIRECTION OF THE MAIN ATTACK

メディア 映画
ジャンル 戦争
製作国 ソ連
色彩 Color
時間 130分
初公開日 1971/07/31
公開情報 松竹映配

【キャッチコピー】

第一部・第二部に引続き ソビエト映画の誇りを 賭けて遂に成しとげた この歴史的事実 衝撃の再現！

戦争において真の英雄は誰か？ 驚異のスケールで前作を圧倒する 今世紀最大の巨篇！

【解説】

ソ連が総力を挙げて描く第二次大戦映画の第3部。日本では第1部、第2部がまとめて一本として公開されているので、これは第3部だが、2本目となる。今回の山場となるのは、ナポレオンと戦った将軍の名にちなんでつけられたというパグラチオン作戦だ。1944年6月、ソ連軍はヒトラーの意表をついて白ロシアの湿地帯から大攻勢を開始し、ドイツ軍が慌てて兵力を南部のウクライナから白ロシアに移動させた隙に、ウクライナからも攻撃。ドイツ軍はこの計略にまんまとはまり、戦線を後退せざるをえなくなる。苦戦が続くドイツでは、7月20日、ヒトラーを暗殺してクーデターを起こそうとする事件が発生。その間にもソ連軍は着々と兵を進め、ついにポーランド国境を越え、ヨーロッパの解放が始まる……。大戦争スペクタクルになってはいるが、ただ軍事演習を見せられてるだけという気もするし、ドラマ部分にも盛り上がりがない。

【クレジット】

監督	ユーリー・オーゼロフ	Yuri Ozerov
脚本	ユーリー・オーゼロフ	Yuri Ozerov
	ユーリー・ボンダリョフ	Yuri Bondarev
	オスカル・クルガーノフ	
撮影	イーゴリ・スラヴネヴィチ	
音楽	ユーリー・レビティン	Yuri Levitin
出演	ニコライ・オリャーリン	
	ラリーサ・ゴループキナ	Larisa Golubkina
	スタニスラフ・ヤスケヴィッチ	
	フリッツ・ディッツ	